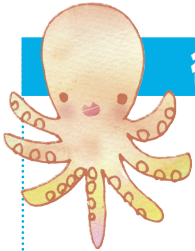


里海かわら版

平成 30 [2018] 年

2 月 発行

編集・発行 / 長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会事務局 ☎ 088-823-9407 ✉ kc-010900@city.kochi.lg.jp



役員会について (12月12日・1月18日)

第2回総会以降、2回の役員会を開催し、今後の取組内容等について協議を行いました。

大学等との連携について

県立大学の地域学実習の実習地として学生を受け入れるにあたり、実習のテーマ及び場所等について協議を行いました。今後、各地区と県立大学で協議を行い、2月末頃を目途に詳細について検討していくこととなりました。また、県立大学の連携に合わせて南海中の生徒達も参加する方向で調整を進めていくこととなりました。

外部有識者による講演会

高知大学特任教授の黒笹慈幾氏に外部有識者として、ご講演いただくにあたり、事前に2月15日・16日の2日間で地域の視察を行うこととなり、事前視察のテーマ、場所、案内役等について協議を行いました。

浦戸地区部会について (1月16日)

浦戸地区部会では、住民の皆さまのご意見をお伺いするために、昨年12月に各町内会の皆さまのご協力をいただき、アンケートを実施しました。

アンケート内容としては、浦戸地区の「①いいなと思うことや好きなモノ・コト」「②ここがイマイチ、もう少し良くならないかなと思うこと」「③将来こうはなりたくないと思うこと」「④将来こうなったらいいなと思うこと」の4つについて、意見を出していただくものとなりました(主な意見は下記参照)。

また、今回のアンケートの意見をもとに地域の現状と将来像について浦戸地区部会で話し合いをし、意見の補足等を行い、その結果について報告がありました。

1 いいなと思うことや好きなモノ、コト

- 美しい景色、景観
- 自然が豊か
- 温暖な気候
- 桂浜がある
- 龍馬像がある
- 史跡に富んでいる
- 伝統行事が続いている



2 ここがイマイチ、もう少し良くならないかなと思うこと

- 少子高齢化が進んでいる
- 若い人が行事に参加しない
- 近くにお店やコンビニがない
- 空き家、空き地が多い
- 桂浜に活気がない
- 地震、津波などの自然災害
- 公共交通機関が不便

3 将来こうはなりたくないと思うこと

- 自然環境が破壊される
- 少子高齢化が進む
- 若者が地域から離れていく
- 独居老人の増加が心配
- 保育園・小学校の閉鎖
- 空き家が増える
- 売店が減少する



4 将来こうなったらいいなと思うこと

- 人口が増える
- 空き家、空き地の利活用
- 桂浜の活性化
- 目玉商業施設ができること
- 居酒屋や食堂ができる
- 避難道路、避難場所の整備



「長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会」では、昨年9月の設立以降、人口減少への対応、地域振興という観点から、課題解決に向け、今年度は地域の課題・現状把握等を行っています。1月26日(金)には南海中学校を会場に、平成29年度第3回総会を開催しました。

その後、議事として、第2回総会以降に開催された役員会・浦戸地区部会の報告がありました。

第3回総会を開催しました

高知市の施策について、財産政策課から「公共施設マネジメント」、政策企画課移住・定住促進室から「高知市の移住・定住の取組概要」について、それぞれ説明がありました(裏面にて、概要をご紹介します)。



平成 29 年度第 3 回総会の様子 (1 月 26 日開催)



浦戸地区部会の様子 (1 月 16 日開催)

公共施設

マネジメント

高知市では、現在884施設(延床面積125万3155㎡)の公共施設を保有しており、市民一人あたりの保有面積では、他自治体の平均と比べても1.2倍以上の施設を保有しています。

今後、少子高齢化に伴い、施設の維持管理等にかかる財源の確保が難しくなることが予想される中、現在保有している施設の修繕や建て替えにかかる将来費用は、平成27年度までの過去5年間平均の約2倍となる年間129億円と試算されていて、人口減少等により財源の増加が見込めない中、適正な維持管理を行うには延床面積で約3割の削減が必要とされています。

これらの問題を解決していくために、高知市では「公共施設マネジメント」に取り組んでおり、公共施設の今後のあり方を示した高知市公共施設再配置計画の策定や、施設の点検等を通じ、安心安全で将来にわたり持続可能な公共施設サービスの提供に努めています。

その中で、今後、公共施設の整備や公共サービスの提供を行うにあたり、行政と民間が連携し、民間のアイデアや資源・資金・技術・ノウハウを活用する手法を取り入れることとしています。この手法により、公平性・競争性を確保しつつ、公共サービスの向上、財政負担の軽減、さらには地域経

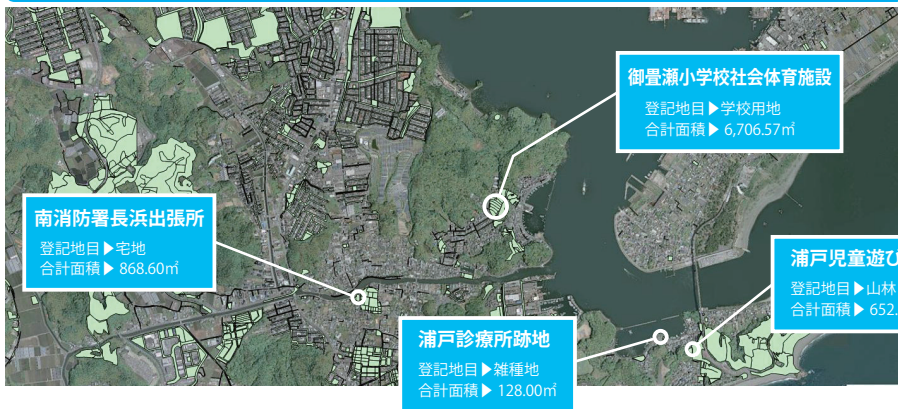


済の活性化につなげていきたいと考えています。

長浜・御豊瀬・浦戸地域においても活用検討が可能な遊休地・施設があります(図①参照)。

これらの場所の活用についても、行政と民間が連携した手法を取り入れ、活性化協議会をはじめとする地域住民の皆さまや、民間企業の皆さまからのご意見をお伺いしながら、市で調整を進めて参りたいと考えております。

図① 長浜・御豊瀬・浦戸地区で活用検討が可能な場所



高知市の移住・定住の取組概要

高知市移住・定住促進計画

「高知市移住・定住促進計画」は、高知市総合計画や総合戦略等を補完する計画として、平成27年11月に策定しました。人口減少の克服を目的に、新しい人の流れを生み出し、活力とにぎわいを維持・発展させ、移住者を含む全ての市民にとって「住んでみたい・住み続けたいまち高知市」の実現をめざしています。

情報発信

本市への移住を希望する県外在住者を対象に、市の専用ホームページ「こうちらいふ」や首都圏等での移住相談会等を通じて情報発信を行うとともに、市内の移住関連施設の見学やまち歩き等、高知の魅力を紹介する「いつでもご案内暮らし」等に実施しています。

本市の移住・定住に関する情報は
こちららふふ 検索



移住後のフォローアップ

転入された方のうち、希望者に対し定期的な情報発信を行うとともに、移住者同士の交流や情報共有の場として「移住者交流会」を開催しています。併せて、移住者の身近な相談役として県が委嘱する「地域移住サポーター」の育成のため、研修会や先進地視察等も行っています。

三世帯同居等Uターン支援事業

本市では平成28年度から、三世帯同居等となる子育て世帯の移住・定住を促進することを目的に、「三世帯同居等Uターン支援事業」を実施しています。三世帯同居等となる子育て世帯の県外からの転入費用や定住費用を支援することで、子育て支援や祖父母世代の老後の不安解消など、お互いに助け合いながら暮らせる安心のまちづくりをめざしています(平成28年度実績14組39人)。

次回総会のお知らせ

長浜・御豊瀬・浦戸地域活性化協議会第4回総会を開催します。どなたでも傍聴できますが、席数に限りがありますのでご了承ください。

日時 平成30年3月23日 [金] 午後7時～
場所 南海中学校中舎2階大ホール ※駐車場あり

ご意見をお寄せください

事務局 高知市政策企画課 (担当: 宮崎・有光・西森)

〒780-8571 高知市本町5-1-45
 ▶電話 088-823-9407 ▶FAX 088-823-9382
 ▶電子メール kc-010900@city.kochi.lg.jp
 ▶ホームページ http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/2/kasseika.html

